

## 街角の話題

まず、写真を見てください。フラスコの中に見えるものは何でしょうか？これは植物細胞のかたまりで、植物培養細胞といいます。

植物はたくさん細胞からできています。葉や根の一部を切り取って植物ホルモンや栄養分の入ったかんてん培地の上に置いておくと、その中の細胞が増殖を始めます。

植物培養細胞には、研究に適した特徴があります。まず、培養細胞は普通の植物体よりも速く増えます。次に、植物体は葉や根のようにいろいろな種類の細胞からできています。次に、培養細胞からできています。葉や根のようになります。さらに、フラスコなど容器の中で育てているの

活動をしています。

体では有用物質を作る組織が限られていたり、量が少なかつたりします。

## 実験植物④

**理化学研究所  
バイオリソースセンター**

バイオリソースとは、  
生命科学を支える  
生物遺伝資源です



## ふしぎを追つて

364

ー研究室の扉を開くー

## 植物培養細胞とは

やがて葉や根のような植物の形を失い、無限に増え続ける細胞のかたまり、培養細胞になります。この培養細胞は植物の形をしていませんが、普通の植物と同じように生命

例えば、植物培養細胞を用いて物質生産を目指した研究が行われています。植物は葉や香料・色素・樹脂などとして役に立つ多くの物質を作ります。しかし、普通の植物

研究まで幅広く利用されています。例えば、植物培養細胞をはじめ、いろいろな植物の培養細胞を保存しています。しかし、種子のように何もせずに保存しておき事ができないため、その維持はとても大変です。培養細胞はかん

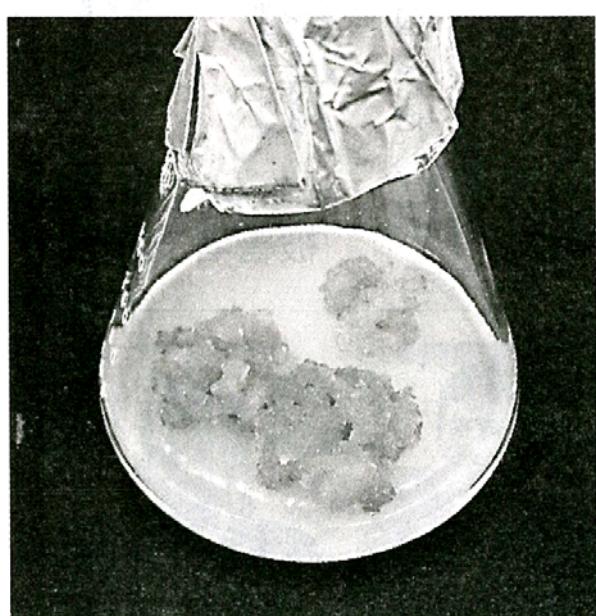
ロイヌナズナの培養細胞をはじめ、いろいろな植物の培養細胞を保存しています。しかし、種子のように何もせずに保存しておき事ができないため、その維持はとても大変です。培養細胞はかん

そこで、私たちは培養細胞を凍結して保存する技術開発を行っています。この技術を完成させて、大切な植物培養細胞を安全に保存し、植物科学的研究の推進に貢献することがバイオリソースセンターの役割なのです。

上で維持しているが、

林俊弘

(実験植物開発室 小



ヨウシュヤマゴボウの植物培養細胞。赤い色素を作る。三角フラスコ中のかんてん培地の上で育っている